

企業版ふるさと納税の制度の延長について

【担当省庁】 内閣官房

奈良県における取組

- 本県は、「住んでよし」、「働いてよし」、「訪れてよし」を目指し、地方創生を推進している。
- これまで企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）を活用し、2つのプロジェクトを実施。
- 具体的には、「訪れてよし」の分野において、企業版ふるさと納税制度を積極的に活用し、本県の歴史文化資源を活かした取組を行うことにより、観光地奈良の魅力の向上を図っている。

1. <触れる国宝等レプリカ製作活用プロジェクト>

平成29年度【寄附額500千円】

重要文化財である黒塚古墳出土の三角縁神獣鏡を製作

平成30年度【寄附額1,500千円】

重要文化財であるメスリ山古墳出土の玉杖(ぎょくじょう)を製作

製作した文化財レプリカは、県立橿原考古学研究所附属博物館での特別展や「こども考古学講座」等で活用。奈良を訪れる多くの方に触れていただくことにより、歴史を活かした奈良の魅力が向上し、観光客数及び観光消費額の増加を見込んでいるところ。



三角縁神獣鏡のレプリカ



こども考古学講座の様子

2. <文化財の国際的展開を通じた奈良の国際ブランド力最大化を観光誘客につなげる現地プロモーション>

平成30年度【9,500千円】

フランス・パリにおける「ジャポニスム2018」において、歴史文化資源を活用した奈良の魅力を発信する事業を実施

「ジャポニスム2018」での本県の取組については、地方創生推進交付金も併用。「日本の始まりの奈良のブランド力を世界に向けて発信することにより、本県の認知度が高まり、インバウンド観光拡大を見込んでいるところ。



仏像展示「古都奈良の祈り」



奈良の魅力を伝えるパンフレット



奈良仏像に関する講演会



日本のお酒試飲の夕べ

国にお願いすること

- 企業版ふるさと納税については、本県の地方創生の取組を一層推進するために、今後も積極的に活用したい制度であることから、令和2年度以降も制度を延長されたい。

また、恒久的な制度となるよう検討されたい。

【県担当部局】総務部知事公室政策推進課